

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道151号 <small>おちあいにいの</small> 落合～新野バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県下伊那郡阿南町市川 至：長野県下伊那郡阿南町新野	延長	7.6km		
事業概要					
一般国道151号は、長野県飯田市から愛知県豊橋市に至る延長約131kmの幹線道路である。 落合～新野バイパスは、幅員狭小、線形不良部分の解消を目的とした延長7.6kmの2車線道路である。					
S49年度事業化	都市計画決定 なし	S50年度用地着手	S51年度工事着手		
全体事業費	約166億円	事業進捗率	83%	供用済延長	5.9km
計画交通量	5,100 台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用 ： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 30 / 48 億円	総便益 ： <small>(残事業)/(事業全体)</small> 49 / 49 億円	基準年 ：	
	<small>(事業全体)</small> 1.0 <small>(残事業)</small> 1.6	<small>(事業費)</small> ：28/45 億円 <small>(維持管理費)</small> ：2/2 億円	<small>(走行時間短縮便益)</small> ：53/53 億円 <small>(走行費用減少便益)</small> ：-3/-3 億円 <small>(交通事故減少便益)</small> ：-2/-2 億円	平成15年	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（長野県地域防災計画の地震防災対策強化地域の緊急輸送路に位置づけられている） <p style="text-align: right;">他3項目に該当（定量的評価項目を除く）</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
阿南町をはじめとする関係1町6村の議会議長で構成する下伊那南部知久議員会より事業促進の要望（平成16年1月20日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
当該地区において国道151号は、「祭り街道」となづけられ、地域の文化をはぐくむ道としても重要な役割を果たし、地域と一体となった道造りがなされている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
現在までに5.9kmが供用済み。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地買収はほぼ完了。残工事は既に着手済みの市川トンネルのみであり、当初の予定より1年早い平成17年度全線開通予定である。					
施設の構造や工法の変更等					
トンネルの排水構造物を見直し、コスト縮減を図っている。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勧案すれば、残区間を整備することにより、当初の目的が達成されると考えられる。				
事業概要図					

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。